

出願書類チェックリスト （出願前の確認に使用してください。）

書類・準備するもの	一般 A	一般 B	社会人	外国人留学生
入学志願票 （インターネット出願サイトからダウンロードし、A4カラー・片面印刷したもの）				
入学願書・研究指導教員調書（裏面）				
履歴書				
研究志望調書 ※A4用紙1枚				
研究計画書（社会人用） ※A4用紙（両面）1枚 ＜社会人区分出願者＞				
研究計画書（留学生用） ※A4用紙1枚 ＜外国人留学生区分出願者＞				
卒業（修了）証明書又は 卒業（修了）見込証明書（原本）				
成績証明書 ＜一般、外国人留学生区分＞				
語学試験成績証明書（原本） ＜一般 B 区分出願者＞				
日本留学試験成績通知書の写し ＜外国人留学生区分出願者＞				
学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書（原本） ＜出願資格（2）による出願者＞				
住民票の写し ※日本国籍を有しない方				
受験承諾書 ※該当者のみ				
類型該当性の自己申告書				

※募集要項のV 出願手続 ■提出書類の注意事項欄をよく読んで、各書類の作成・準備を行ってください。

上記の該当する出願区分を○印で囲んでください。

岐阜大学大学院地域科学研究科入学願書

⁶ フリガナ					⁹ 男・女	⁴ 受験番号	*			
⁵ 氏名										
⁷ 英字氏名 (外国人の方のみ記入)					¹⁰ 本籍地 (都道府県) ※留学生は国籍					
⁸ 生年月日	年 月 日									
	専 攻				教 育 研 究 領 域					
志望専攻	³									
及 び 教育研究領域	※外国語 受験科目	教育 研究 領域	経済社会 行政社会 社会生活 人間文化	英語 ・ 日本語 (希望する受験科目を, 1科目○で囲んでください。)						
			自然環境	英語						
²⁴ ²⁵ 出願資格	学 校 名				学 部 ・ 学 科					
	国立 公立 私立	大 学			学 部					
					学 科					
※番号 ()	年 月 卒業・卒業見込・その他()				²⁷ 学籍番号(本学を卒業又は卒業見込の者のみ記入)				²⁶	
¹² 留学生区分	(該当する区分を○で囲んでください。)									
	私 費 ・ 国 費									
卒業論文 (予定)名										

¹⁴ ¹⁵ ¹⁶ ※ ¹⁷ 現住所	電話番号() -				携帯電話番号() -			
	メールアドレス							
	〒 -							
※連絡先	電話番号() -				携帯電話番号() -			
	メールアドレス							
	〒 -							

- (※注) ・ 外国語受験科目の欄は一般入試(A区分)の志願者のみ記入してください。
・ 出願資格(番号)欄には, 募集要項 II 出願資格のうち, 該当する番号を記載してください。
・ 現住所は, 合格通知書及び入学手続き類[2月頃]を送付する場合のあて先になります。
・ 現住所以外の場所への郵送を希望する場合は, 「連絡先」欄に記入してください。
(同一の場合は, 連絡先の住所欄に「同上」と記入してください。)
出願後に現住所等を変更した場合は, 速やかに地域科学部学務係へ連絡してください。

* 印欄は記入しないでください。

※裏面に「研究指導教員調書」があります。

研究指導教員調書

受 験 番 号	氏 名
*	

出願に際して、研究指導を志望する教員を、下記の表を参照して記入してください。
(出願前に必ず研究指導を志望する教員と連絡をとってください。)

専 攻	教育研究領域	教 員 名

専攻名	教育研究領域	専門分野	教員名	備考	専攻名	教育研究領域	専門分野	教員名	備考
地域政策専攻	経済社会領域	理論経済学	柴田 努		地域文化専攻	社会生活領域	労働社会学	伊原 亮司	
		計量経済学	三井 栄				現代史	加藤 公一	
		比較経済体制論	小西 豊				地域史	水林 純	
		経済史	小林 啓祐				文化人類学	堀江 未央	
	行政社会領域	行政法	三谷 晋				生活指導論	南出 吉祥	
		民事法	河合 墨			人間文化領域	心理学	峰尾菜生子	
		行政学	山本 公德				西洋思想史	柴田 和宏	
		社会政策	鈴木 力				アジア文化学	魏 晨	
	自然環境領域	環境物理学	神谷 宗明				文化解釈論	内田 勝	
		数理化	和佐田裕昭				言語教育学	笠井 千勢	
		数理システム	應 江 黔				言語文化論	牧 秀樹	
		環境心理学	合掌 顕				社会言語学	洞澤 伸	
		都市環境工学	十二村佳樹				中国語学	橋本永貢子	
		環境計算化学	橋本 智裕						

*印欄は記入しないでください。

上記、研究指導を志望する教員と連絡を取り、教育内容の確認等を行いました。

令和 年 月 日 志願者氏名 _____

履 歴 書

フリガナ			*
氏 名	年 月 日生	受験番号	

区 分		期 間(西暦)	履歴事項 (学校名・勤務先等)	正規の 修学年数	修業 年数
学 歴		年 月入学 年 月卒業		年制	年
		年 月入学 年 月卒業		年制	年
		年 月入学 年 月卒業		年制	年
		年 月入学 年 月卒業		年制	年
		年 月入学 年 月卒業		年制	年
		年 月入学 年 月卒業		年制	年
		年 月入学 年 月卒業		年制	年
		年 月入学 年 月卒業		年制	年
職 歴		年 月 年 月			
		年 月 年 月			
		年 月 年 月			
		年 月 年 月			
		年 月 年 月			
		年 月 年 月			
		年 月 年 月			
		年 月 年 月			
賞 罰		年 月			
		年 月			

(注) 学歴は,高等学校又は高等専門学校等から記入してください。
(「区分」欄に「高等学校」等,「履歴事項」欄に学校名を記入。)
ただし, 外国人の方は, 小学校から記入してください。
「正規の修学年数」欄には, 当該学校の卒業に必要な修学年数を,「修業年数」欄には,
志願者本人が実際に修学した年数を記入してください。(ただし, 休学期間は除きます。)
また, 研究生歴は, 学歴の区分に記入してください。
職歴について, 上欄に書き切れない場合は, 適当な別紙に記入の上, 添付してください。
* 印欄は記入しないでください。
上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日 氏 名_____

※履歴書に虚偽の記載をしたり, 記載すべきことを記載しなかった場合は,入学許可を
取り消すことがあります。

研究志望調書

[illegible]

ワープロ使用可（この様式を基にして、A4白紙(1枚以内)にワープロなどで作成しても構いません。）

* 印欄は記入しないでください。

(社会人用)

研究計画書

[illegible]

ワープロ使用可（この様式を基にして、A 4 白紙（両面・1枚以内）にワープロなどで作成しても構いません。）

*印欄は記入しないでください。

(社会人用)

研究計画書

This image shows a blank sheet of white paper designed for writing. It features a series of horizontal dashed lines spaced evenly down the page. A single solid vertical line runs along the left edge, creating a margin. The rest of the page is empty, providing space for text or drawings.

(留学生用)

研究計画書

[illegible]

ワープロ使用可（この様式を基にして、A4白紙(1枚以内)にワープロなどで作成しても構いません。）

* 印欄は記入しないでください。

(一般A・一般B・社会人・留学生)

受験番号	*
------	---

令和 年 月 日

許可者
所属・職名
代表者 _____ ㊞

(㊞は社印等を押印してください。)

受 験 承 諾 書

岐阜大学大学院地域科学研究科 _____ 専攻入学志願者
_____ の受験を承諾します。

*印欄は記入 しないでください。

類型該当性の自己申告書

岐阜大学に教職員として応募する方、学生として出願する方には「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの自己申告をお願いさせていただきます。

ご自身の立場について別紙フローチャートを参照いただき、該当の項目にチェックを入れて応募および出願の書類と一緒にご提出ください。

部局 _____

氏名 _____

☐ 類型①に該当 ☐ 類型②に該当 ☐ 類型③に該当 ☐ いずれにも該当しない

類型①～③に該当する方は下記にその根拠を記載し、エビデンスを提出してください

該当性の根拠

例：〇〇機関に雇用されている、〇〇から資金提供・奨学金を取得している、もしくは予定
(_____)

エビデンス資料

例：海外機関の雇用証明書（雇用通知書・契約書）、海外機関からの資金提供通知書（個人）、
奨学金の受給通知もしくは申請書など
(_____)

※類似該当性の判断について不明な場合は下記にお問合せください。

安全保障輸出管理事務局

E-mail：export-control@adm.nagoya-u.ac.jp

類型該当性判断のフローチャート

類型①

外国法人等(外国大学を含む。)か外国政府等と雇用契約(契約の名称を問わず、時間的・場所的に拘束されるもの)又は取締役としての委任契約を締結しているか？	No ☐
Yes ☐	
本誓約書の提出先と契約に基づく指揮命令又は善管注意義務が、あなたの外国法人等又は外国政府等との契約に基づく指揮命令又は善管注意義務に優先するとの合意があるか？	Yes ☐
No ☐	
本誓約書の提出先と、あなたが契約を結んでいる外国法人等はグループ企業の関係にあるか？(通常、大学等では該当しません。)	Yes ☐
No ☐	
類型①に該当する。	類型①に該当しない。

類型②

外国政府等から、多額の金銭その他の重大な利益を得ている、又は、得ることを約束しているか？	No ☐
Yes ☐	
その利益を金銭換算した場合、年間所得のうち25%以上を占めているか？	No ☐
Yes ☐	
類型②に該当する。	類型②に該当しない。

類型③

上記の他、日本における行動に関し外国政府等の指示や依頼を受けているか	No ☐
Yes ☐	
類型③に該当する。	類型③に該当しない。